

## イズリントンの役人の娘

1 地主の息子

みんなに人気の若者が  
イズリントンの  
役人の娘に恋をしました

2 自分が愛されているなどと

内気な娘は信じません  
それどころか  
顔を見せようとさえしないのです

3 仲間たちが

恋に腑抜けた彼をみて  
華やかなロンドンへの  
年季奉公をすすめました

4 恋人に逢うこともなく

七年の歳月が過ぎました  
「彼女からは これっぽちも想われず  
涙に暮れたこの日々よ」

5 イズリントンの娘たちは

みんな陽気に遊んでいるのに  
役人の娘だけは 仲間に加わることもなく  
こっそり町を抜け出しました

6 灰色のガウンを脱ぎ捨てて

乞食の服を身にまとい  
恋人をたずねて  
華やかなロンドンに出かけました

7 日照り続きの道すがら

気がつくとき  
探し求めた恋人が  
馬でこちらに向かってきます

8 バラのように真っ赤になって歩み寄り

手綱をとって 言いました  
「見知らぬお方 どうか一ペニーお恵みください  
疲れた体にお恵みを」

9 「哀れな娘よ

そなたは いずこの生まれ」

「イズリントンの生まれです」

そこで たくさんの蔑さげすみを受けました」

10 「哀れな娘よ

もしや そなたはご存知ないか

イズリントンの役人の娘の消息」

「その方は 遠い昔に亡くなりました」

11 「ならば この立派な馬を手放し

鞍も弓も売り払い

誰も私を知らないような

遠い異国くにに行つてしまおう」

12 「いいえ いいえ お待ちください

その方は 実は生きていますのです

あなたの側そばにこうして立つて

喜んで花嫁になるつもりです」

13 「悲しみよ さようなら

何万倍もの喜びよ

ついにこうして 心から愛する人に逢えたのだ

もう逢えないと諦めていたその人に」

(山中光義訳)